

## 5 . おわりに

[ ]については、1 . 学校の概要について、 2 . 平成15年度年間指導計画について、 3 . A「技術とものづくり」における製作題材について、 4 . 中学校在学中に学習する内容（A「技術とものづくり」における指導内容の重視項目とその程度）について、 5 . 新学習指導要領実施にあたっての教師の意見について、様々な実態が把握できた。

[ ]については、技術・家庭科担当教師において、H7年調査と比較すると臨免者が減少、全体的にみると技術・家庭科担当教師の他教科担当が減少しているものの、小規模な学校においては依然としてそれらの数は多いこと、第1・2学年と第3学年の開設方法を変えている学校が多く存在すること、キット教材を使用している学校が増加傾向にあること、全体的にみると実験・実践的な指導が少ない状況にあること、などが顕著にあらわれていた。

[ ]については、特に第3学年の授業時数に対し不足を訴える意見が多いこと、ものづくりを重要視している学校が多いこと、項目・分野・教科等を超えて授業展開をはかろうとしていることなどがわかった。

縮減された時間数の中で、問題解決型学習を重視しながら、かつ基礎・基本となる知識や技能もしっかり身につけさせることになるのだが、実態はそのようにありたいという教員の考えに反し、実験や実践的な指導が十分に取れない難しい状況にあるようである。

- ・ 山形県内中学校技術・家庭科の教育課程の実態について
- ・ 前回調査との比較による時系列的変容について
- ・ 山形県内技術・家庭科担当教師の意識について

## 参考文献

- 1) 中学校学習指導要領(平成10年12月)解説 - 技術・家庭編 - ,1999,文部省 : p1~110
- 2) 山形県教育関係者名簿,2003,山形教育用品(株) : p1~265
- 3) 河合康則,設楽清志:平成元年(1989)告示の学習指導要領実施に伴う山形県内中学校技術・家庭科の履修動向,山形大学紀要(教育科学)第11巻 第4号 別刷,1997.1月 : p615~629
- 4) 設楽清志:技術科教育における教育内容に関する研究 - 山形県内中学校技術・家庭科における新教育課程の履修動向について - ,山形大学河合康則研究室,1995 : p1~74